




# 2歳児クラス 1月 第1回 「おもちのきもち」


★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちのコトバでお話が進められている絵本なので、おもちが語りかける雰囲気で行う。</li> <li>「ペッタンペッタン」「ピロンピロンピロン」「フンゴフンゴ」などおもちの動きを表現する擬音語を強調し、楽しく表現する。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「みんなはお正月におもちを食べたかな?」「みんなはどんな味のおもちが好き?」など問いかけ、絵本の表紙を見せる。お供えのお話を導入として絵本をスタートする。</li> </ul>	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと一緒にお話を楽しむ</li> </ul> 

## がくしゅうタイム

活動①	巧緻性	両手を使って紙粘土の変化を楽しみ、お餅作りを楽しむことができる。	
設問	紙粘土をちぎって、丸めておいしそうなおもちを作りましょう。最後は鏡餅にして飾りましょう。		
活動内容	講	「かがみもちさん、自分の足やお尻かぼっ!って美味しそうに食べていたね。先生もぺったん、お餅作りたいなー」	教材
	保	「良いものありますよ」と紙粘土を提示。	
活動内容	講	「お餅?真つ白紙粘土!」子どもたちの前で粘土の基本(以下参照)を見本行動。「みんなも作ってみる?作りたい人ー!」と意欲を引き出し紙粘土を配布する。	P1 紙粘土 折り紙(橙 1/4) 一人1枚 ※紙粘土はあらかじめ人数分に分け、扱いやすい様に少し細長く成形シラップやビニール袋などで乾燥しない様に覆うなどして準備
	子	講師と一緒に粘土制作の基本の動きとキーワードの確認をする ①ちぎる=横に引っ張る・ひねる 「キュー・プッチン」など ②丸める=掌に挟んで又は掌と机上で挟んで丸める 「クルクル」など ③伸ばす=平らに伸ばす、細長く伸ばす。「べたべたぺったん・ピロンピロン・クルクルピヨーン」など できればこの3点は最初に全員で確認して行い、伝えてから自由に作らせていくと良いでしょう。	
活動内容	講	保育士は子どもたちのところを回り、一緒に製作を楽しみながら基本の動きを指導しつつ「今度はどんな味のおもちにする?」や絵本のストーリーを意識してその形の面白さを言葉にするなど会話を広げていく。	保育士の役割
	講	最後に「大変!お餅が硬くなっちゃうねー。その前に先生鏡餅作ろー。見ててねー」と紙粘土を一つにまとめ「半分こ」とちぎり「くるくる…ぎゅ」と丸めてつぶしプリントの三方の上に乗せていく。「鏡餅できましたー。おもちさんもう逃げないでねー」と見本行動。	
活動内容	子	同様に丸めて形を作り、鏡餅にしてプリントの上に置く。 *自分の作った形から変えたくない子や自分流の形のお供え餅でも無理強いせずそのままを飾って良い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙粘土提示</li> <li>紙粘土配布</li> <li>必要に応じて粘土の扱い方個別指導</li> <li>会話を楽しむ</li> <li>賞賛</li> <li>作品回収(展示)</li> </ul>
	講	皆で見せ合いっこ。個性あふれるお供え餅、形の変化をそれぞれに賞賛して終了。 ※あらかじめ部屋の棚の上などに紙粘土を飾り、乾かす場所を確保できると良い。 ※この活動①の盛り上がりによっては活動②は無理して行わず、保育の中の活動に変更しても良い。	

<b>活動②</b>	<b>描く</b>	色々なお餅の味をイメージしながら色塗りを楽しむことができる	
<b>設問</b>	<b>あんこ味やきなこ味などいろいろな味のおもちに色を塗りましょう。</b>		
<b>活動内容</b>	・保：「今日はもう一つお餅が届いています」とプリント提示。	<b>教材</b> P2 クレヨン	
	・講：プリントを受け取り「みんなの分もありますか？」 ・保：「ありますよ」とプリント配布。 ・講：「いっぱい並んでいる。いくつあるか数えてみようか？」  <b>数にチャレンジ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子：講師と一緒にプリントのお餅を一つずつ指さしながら「1・2・3・4。全部で4」と声に出して数えていく。</li> <li>※「4こ」数えるは今月の繰り返し、チャレンジ課題です。3歳の課題に向けてゆっくりでも良いです、しっかり確実に数え、全体数を捉えられるようにしていきましょう。</li> </ul> ・講：「あれ？真っ白。何にも味が付いてないね」 ・保：「今日はみんなの好きな味にしてくださいですって」とクレヨン提示。 ・講：見本行動。「先生は何味がいいかなー…あんこを塗ろうべたべた。ねばねば納豆ぐるぐる」などとイメージを広げクレヨンで色塗り表現する。 「みんなも好きな味のお餅になるように塗ってみようか」とクレヨン配布。 ・子：ごしごし色を塗ったりタッピングをしたりしながら美味しそうに色塗りを楽しむ。 ・講：保育士は子どもたち個々にインタビュー。「これは何味？」「次は何味にする？」などと聞いてト書きに記録、また一つの色で塗っている子には「次は何色にする？〇〇味みたいね」などと会話して、刺激していくと良い。 ・講：頃合いを見て「おいしそうみんなで味見。いただきます」と食べる真似っこ。「甘いね」「しょっぱいね」「びよーん～のびるね」など感覚・イメージを広げることばを掛けていく。「お家の方にもお土産にして食べさせてあげようね」と賞賛。プリント回収して終了。	<b>保育士の役割</b>  ・プリント提示 ・プリント配布 ・クレヨン提示 ・クレヨン配布 ・会話を楽しみながらイメージを広げさせていく ・賞賛 ・プリント回収	

<b>数子ヤレ</b>	<b>数</b>	「4こ」のお餅を指さしながら数えることができる	<b>教材</b>
<b>設問</b>	<b>おもちいくつあるかな？（4このおもち）数えてみましょう。</b>		
<b>活動内容</b>	※<活動②>の中で実施します。		<b>保育士の役割</b>